

質疑・一般質問

9月11日、12日の本会議では、質疑4名、一般質問12名の議員が発言し、議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。(発言順に掲載)
その他の質問については、議会中継や、会議録検索システム(12月中旬に掲載予定)でご覧いただけます。

- 質疑…市長から提案された議案等の議題となっている案件に対し、不明確な点を問い、案件の提出者等に説明や意見を求めること。(1人当たりの制限時間は40分)
- 一般質問…市長を初めとする執行機関に対し、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて問うこと。(1人当たりの制限時間は60分)

播磨国1300年祭事業について

一般質問



中右 憲利 議員
(21政会)

問 <看板の設置について>

風土記ゆかりの地、10~15ヵ所に看板を設置するという計画があり、予算は県からの補助があり700万円と聞いている。それだけの予算があるなら、看板だけでは面白みがないので、看板と一体のものとして、何か古代を感じさせるモニュメントのようなものを設置してはどうか。観光等で加西市に来た人が、面白いなと思って写真を撮り、こんな面白いものがあつたよ、と話ができるようなものを設置して頂きたい。

答 看板を設置し、風土記ゆかりの地を巡るイベントやマップづくりをして周知を図ります。また、議員のご提案も検討し、看板自体にも何か魅力をもたせるような工夫が加味出来ないか検討してまいります。

問 <播磨国風土記サミット in加西計画について>

加西市が姫路市等播磨地域の主要自治体を差し置いて、各自治体の首長クラスを集めてサミットを開くには、それなりの準備、名目、そしてもてなしが必要だろうと思う。

平成27年には1300年祭もピークを迎え、風土記をモチーフにした創作能を制作する事業計画もあると聞いている。そうであれば、そのお披露目をサミットで盛大にし、壮大で神秘的な世界を各自治体の長の方々に味わって頂ければ、両方の事業にとってメリットがあると思う。今、

サミットを26年度に計画しているが、27年度に開催する方が加西市をアピールし、客人をもてなす準備が十分に出来ると思うがどうお考えか。

答 サミットの開催時期は、現時点では平成26年度を予定していますが、サミットの話題性と1300年祭へ導くPRを踏まえ、プレイベント的に位置付けたいと考えています。しかし、まだまだ計画段階ですので、議員のご意見も参考にしながら、その内容、時期、事業形態について検討していきたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・市内基幹道路の整備について
- ・人口増に関する住宅及び土地利用政策について
- ・その他のイベントについて